

1. 交付金事業の名称 宮城県原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 宮城県
3. 交付金事業の実施場所 宮城県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

放射線測定器等を整備し，活用した。

(2) 施設見学の実施

仙台火力発電所，那珂核融合研究所等を見学した。

【市町村事業】（仙台市、大崎市、気仙沼市、涌谷町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

ペルチェ素子実験器，火力発電モデル実験器等を整備し，活用した。

(2) 教員研修の実施

エネルギー教育についての教員研修を行った。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費	2,673,202 円
交付金充当額	2,673,202 円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は，実験器具・実験材料の整備事業が目標 85%に対して実績 89%，教員研修が目標 80%に対して実績 100%，施設見学が目標 85%に対して実績 89%だった。実験器具・実験材料の整備事業，教員研修事業，施設見学事業を実施したことにより，放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり，児童・生徒の理解が促進された。
- ・原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は，実験器具・実験材料の整備事業が目標 85%に対して実績 92%，教員研修が目標 80%に対して実績 100%，施設見学が目標 85%に対して実績 95%だった。本事業を実施したことにより，原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として，事業が促進されたと評価できる。